

定時制高校に通う高校生に 「つながり」を届けるプロジェクト

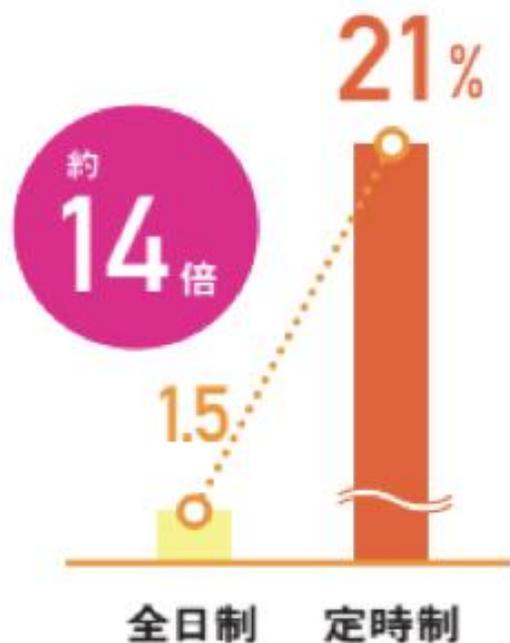
認定NPO法人D×P（ディーピー）

発表者 入谷 佐知

発表日 2018年3月2日

定時制高校

1年次に中退した
高校生の構成比



全国の定時制高校には貧困状態にある高校生が一定数在籍しています。

実際に1/3の生徒がひとり親家庭出身で、ある大阪府内の定時制高校では25%の生徒が生活保護受給家庭にいるとのことでした。

さらに、全国の定時制高校1年次の中退率は21%（全日制高校の14倍）。

困難を抱えた高校生が次の所属先が決まらないまま社会に放り出されてしまっています。

当プロジェクトは、定時制高校に通う高校生が「つながり」を得ることで、自分の「これから」を前向きに考えられるようにするための授業「クレッシエンド」を行います。

人とのつながりをつくる

成功体験をつくる

生きる場をつくる

通信・定時制高校に特
化した授業
「クレッシエンド」

定時制高校のなか
にあるカフェ
「いごこちかふえ」

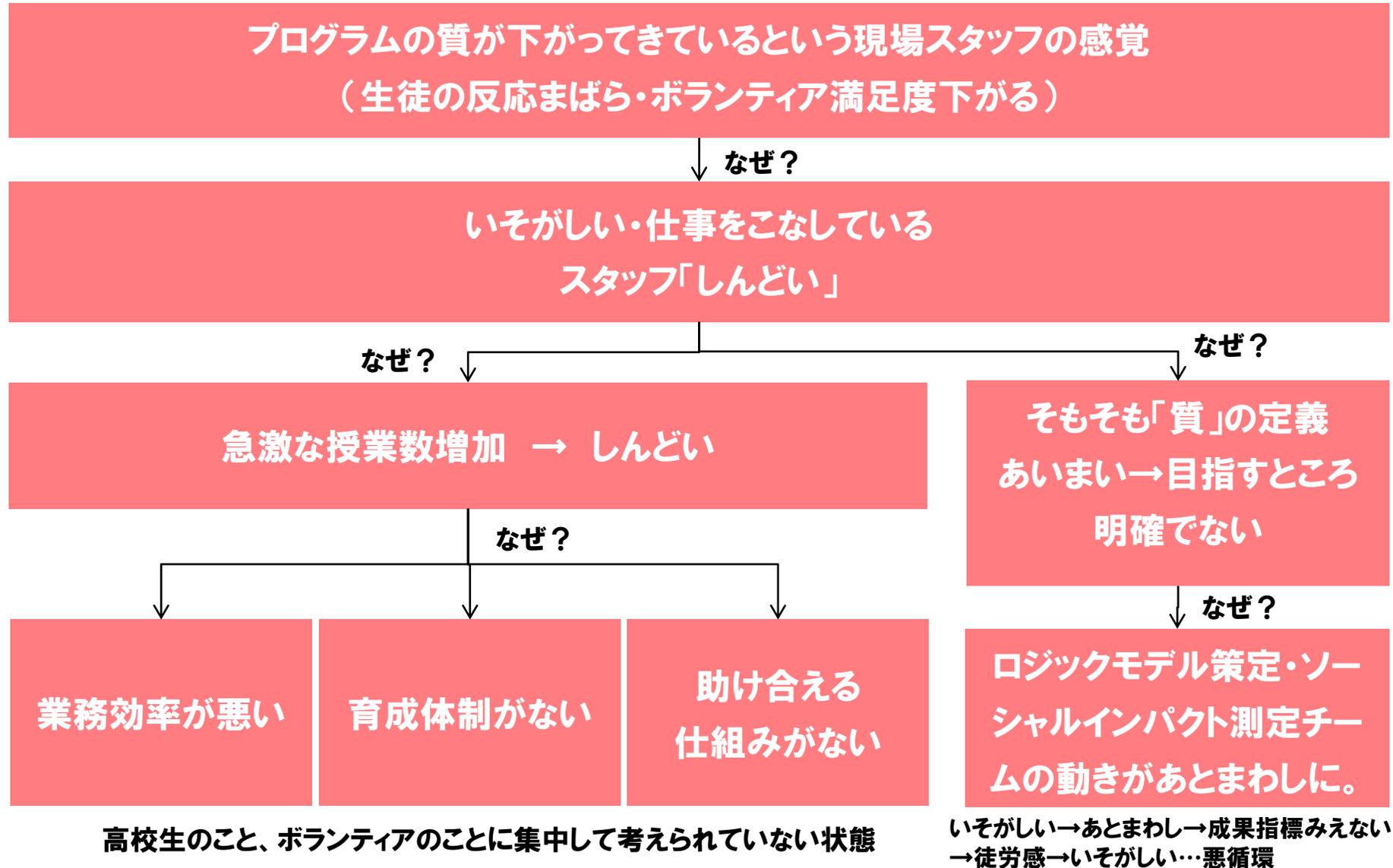
できた！と思える経験
をつくる「チャレン
ジプログラム」

高校生の働くを
サポートする
「ライブエンジン」



**DxPのクレッシエンドは
全国展開をはじめているのに
どうして助成が必要なんですか？**

**大阪（4割シェア）、京都、和歌山、滋賀、
兵庫、札幌、岡山、東京...**



助成期間は、助走期間にしよう！

公立定時制での クレッションドの実施



(←実施と同時に) 業務効率化とスタッ フ育成体制をつくる



ロジックモデルを 構築しなおし→アン ケート再構築・実施 (社会教育学の先生が伴走)

クレッショントロジックモデル

input	output(3つの目的達成)		outcome	impact
職員	中期	長期	クレショントが実施されることで、学習意欲が向上し、社会教育の重要性が認識される。	社会教育の重要性が認識され、学習意欲が向上し、社会教育の重要性が認識される。
アンケート1、2回目に、4回目に実施（CPと実施したい）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）
アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）
アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）
アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）
アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）
アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）
アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）
アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）	アンケート1、2回目に、4回目に実施（実施して大丈夫と判断）

業務改善

- ①クレッシエンドの場をつくる流れをひと目でわかる資料【10割完了→運用実験中】
- ②フローチャート【9割完了】
クレッシエンドを運営するためのはじめから終わりまでが一気にわかる
- ③ワークの種類がわかるシート【9割】
ワークのルールが事前にある程度把握できるようにする / ワークの説明・準備物・どうやってやったらいいのか
- ④メールフォーマット【完了】
リマインドメール・お礼メールのフォーマットと自動化
- ⑤FAQをつくる【5-6割】
イレギュラー対応時の判断を一覧に
- ⑥ストレージサービス-ファイルの整理・誰でも閲覧可能に。

育成体制づくり

- ①新スタッフ向け研修【完了】
いままではビジョン共有を軽くやっている程度だった→基本3姿勢を理解してもらえるように
- ②新人には司会(ファシリテーター)以外のバディ制度を設ける【未着手】
フィードバックを受け取れる体制に
- ③外部イベントやセミナーの告知／参加の促し【ちよつとずつ実施】

助け合える 仕組みづくり

- ①LINEグループつくる【完了】
現メンバーの連絡先がわからない状態だったので見える化→連絡とりやすいように
- ②ランチミーティング制度の活用【完了】
部長権限→だれでも使えるように
- ③各企画に+1のフォロースタッフをつける【未着手】 ※必要か含めて再検討

クレッシェンド達成指標 (マンダラ図)

第4回プログラム		第1回プログラム目標	
目標		目標	<p><u>クレッシェンド3つの目的</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人を信頼するハードルが下がる ・自分の好きなところ/長所を知る ・自己受容感が高まる <p><u>【本クレッシェンドの目的】</u></p> <p><u>【クレッシェンドの全体指標】</u></p> <p><u>【設定根拠】</u></p>
達成指標		達成指標	
実施予定ワーク内容		実施予定ワーク内容	
上記設定理由		上記設定理由	
第3回プログラム目標		第2回プログラム目標	
目標		目標	
達成指標		達成指標	
実施予定ワーク内容		実施予定ワーク内容	
上記設定理由		上記設定理由	

- 話し合い内容がシンプルになり、より生徒ひとりひとりの対応に集中できるように
- 一部ちょっと話し合いがしづらいところがあるので運用しながら改善します！v

学校営業～研修～クロージングまでの流れを一覧に

○○高校○年 日程/担当振り分け													
担当スタッフ													
担当CP	1組: 2組: 3組:												
	本番日時	会議日時	ファシリ	TT	プレゼン資料	ワーク準備物	メール配信	アンケート等 PDF化	アンケート集計	気づきシート	報告書	撮影	
事前打ち合わせ	**/**(*) **:*_*:**	**/**(*) **:*_*:**											
プレゼン練習会	**/**(*) **:*_*:**	**/**(*) **:*_*:**											
授業①	**/**(*) **:*_*:**	**/**(*) **:*_*:**											
授業②	**/**(*) **:*_*:**	**/**(*) **:*_*:**											
授業③	**/**(*) **:*_*:**	**/**(*) **:*_*:**											
授業④	**/**(*) **:*_*:**	**/**(*) **:*_*:**											
振り返り会議	**/**(*) **:*_*:**	**/**(*) **:*_*:**											

- ①外部の大学教授と一緒に話し合いながら
インパクト・アウトカム・アウトプット・インプット を定義しなおし【8割完了】
- ②アウトプット指標をもとに、クレッションドアンケートの再構築【5割完了】
- ③アンケート実施【未着手、3月以降実施見込み】

クレッションドロジックモデル					
input	output(3つの目的達成)			outcome	impact
	短期	中期	長期	“進路”が決められる（学校出た後の道が本人に見えている状態）	
	アンケート1, 2回目と3, 4回目の比較（CPとまた話したい）	部活に所属・満足度	7人衆がSC図の右上にいる状態（アンケートで確認）	ニートや引きこもり、当てのないう行き当たりばったりな進路よりもより明確に自分の人生を考え進むことは、社会にでる1人として重要なことと考える。中退しても文科省の定義する進路未決定になってもD×Pの定義する“進路”を決められればOKとする。	
	アンケート1, 2回目と3, 4回目の比較（失敗しても大丈夫と思う）	バイトをしている・満足度			
	気づきシート「～が好き」と話せた	クラス授業出席率			
	気づきシート「～が得意」と話せた	年度末アンケートとる			
				※進路未決定率だと、就職・進学以外は進路未決定になるが、フリーターや留学など卒業後の1年でやる事が決まっている状態を進路決定と定義する。	

ロジックモデルが絶対ではない。

でもやりたいことは、「やること」→「なすこと」
をきちんとつなげること。